

授業改善へ向けた教師の教材研究を
支援するデータベースの構築

図工・美術科

1 研究の意図

学校におけるネットワークシステムの整備が研究されるなか、図工・美術科における有効活用のひとつとして授業改善を図るための教師を支援する教材資料等のデータベース構築を考えた。インターネットを通して、日頃実践されている授業の内容や新しい題材開発等の情報の流通や、入手や整理が困難な鑑賞学習素材等のデータベース化及び共有化が図られれば、情報の速やかな伝達がなされ、授業実践に移すまでの時間的なゆとりが生まれ、充実した授業実践に役立つものとする。また、普段行われている研究協議や教師自身による教材研究の一層の深まりが期待できると考える。

2 研究内容

(1) 授業改善のための図工・美術に関する情報発信

① ネットワークの利用とホームページの作成

福島県教育センターホームページからリンクし、図工・美術科関連のホームページ「美術の窓」を発信する。図工・美術の絵画、彫塑など各領域ごとに新しい授業の取り組みや題材開発等の情報が得られるものである。

② ホームページ作成の基本的な考え方

教育用ネットワークの拠点としての立場に立ち、広く先生方からの情報を収集し、情報交換の場としてのホームページ運営に当たる。小・中学校、高等学校の図工・美術科に関する授業に直結した内容の情報を収集・掲載し、情報発信基地としての役割を担うとともに、授業改善を図るために教

師を支援する環境の構築を目的とする。その方法としてホームページ「美術の窓」を次のような内容で運営する。

ア 新しい題材開発、指導方法の研究や紹介

イ 鑑賞教育に照準を当てた生徒作品等の画像の掲載と提供

ウ 電子メールの交換による、情報交換の場の設定

エ 当該教科教師による自由なデータの共有

(2) 美術資料のデータベース構築

① データの収集管理

図工・美術科における情報発信と平行し、新しい題材や指導法、及び実践例、鑑賞資料となる生徒作品等の収集を行い、常に新鮮な情報の提供、受信者のニーズに応えられる内容の研究に取り組む。

② データベースの構築

収集、蓄積したデータを受信者が活用しやすい状態に速やかに分類整理し、すぐに引き出せ、利用できるようなデータベースを今後構築していく。新しい情報の更新にも気を配り、ライブラリ的なデータベースの構築を目指す。

3 研究計画

年月	研究計画・内容
H9, 4月	ネットワーク利用の研究
5月	ホームページ作成の研究
6月	ホームページ作成開始
8月	掲載美術資料検討
9月	美術資料の収集と作成
10月	所内ネット上に発信